

くすの木

令和2年度
美浜町立和田小学校 学校だより
令和2年9月11日 NO.19

月曜日に波浪警報のためスクールバスが運行できず、臨時休校となりました。朝7時に町内放送で自宅待機を呼びかけ、メールも配信しました。

台風が接近している時は、町や学校から何らかの発信があるかもしれません。7時の町内放送やメールに気をつけてください。

緊急メールの登録は、保護者の方だけしかできないというわけではありません。祖父母の方でも登録して下さっている方もおられます。迎え等で情報が必要な方は、学校までお申し出ください。登録に必要な用紙をお渡しします。また、携帯電話やスマホを替えた際は、すぐに再登録してください。よろしくお願いたします。

学校長



※台風一過。7日(月)の夕方、虹が出ていました。子どもたちのこれからを暗示してくれているかのように感じ、うれしくて思わずカシャッ。

図書室をのぞいてみると…

今、図書室では、自然災害に関する本が展示されています。学校司書と図書担当教員の工夫で、タイムリーな本を選んで子どもたちに薦めています。

こうして読書意欲を喚起し、よりよい読書習慣形成をめざしています。



フッ化物洗口再開に際して

長らく自粛していたフッ化物洗口を、10日(木)再開しました。昨年度3学期の臨時休業に入るまでは行っていましたので、実に半年ぶりとなります。1年生は、もちろん初めてですね。

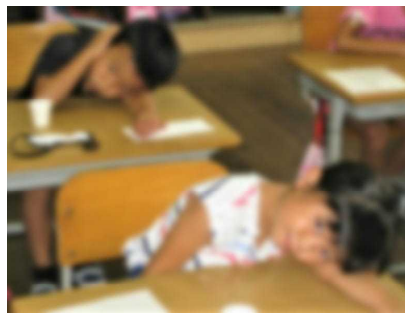
6月の学校再開後に始められなかったのは、感染拡大防止のためです。子どもたちが口に含んだ液を手洗い場に流し、紙コップを教室でまとめることが危険であると考えました。年度当初行っていた歯磨きは、同様の理由で現在は控えております。

フッ化物洗口再開のきっかけは、今年度の歯科検診です。学校歯科医の先生(歯科)も驚かれるほど、子どもたちの歯の健康状態が悪かったのです。歯磨きとフッ化物洗口の重要性を改めて感じました。

では、なぜ歯磨きは自粛なのにフッ化物洗口は再開なのか。それは、安全な洗口液の捨て方が分かったからです。小さな紙コップに10ccの液を入れてうがいをし、終わったらティッシュを1枚入れたコップに液を吐き出します。液はこのティッシュに吸収されて、コップを傾けてもこぼれないので、あとはコップごとゴミ袋に入れるだけ。これなら飛沫が飛んで感染することもほぼありません。

歯磨きの再開に踏み切れない理由は、手洗い場での感染の可能性です。おしゃべりをやめて静かに磨いたり水を吐き出したりするように指導しました。しかし、低学年では難しく、歯ブラシの衛生管理も完全ではありませんでした。今もその懸念は払拭できません。

フッ化物洗口を再開すれば歯の衛生は大丈夫というわけではありません。基本はていねいな歯磨きです。学校では磨けない(ぶくぶくうがいのみ行っています)ので、**ご家庭での歯磨きが重要**です。朝晩2回の歯磨きをしっかり行うよう、ご家庭でのご指導をお願いいたします。乳歯のむし歯はその後生える永久歯にも影響を与えます。特に低学年の子どもには、保護者の方が一緒に磨くなどして、**きちんとした習慣を身につけさせて**いただきたいと思います。



※左：2年生のフッ化物洗口の様子。

右：このようにして、ティッシュに洗口液を吸収させます。

機械もいいけど、本や家族とのふれあいも

9日(水)は、ノーメディアデーでした。ご家庭でのお取組ありがとうございました。

学校でも、日頃から図書の貸し出し冊数を1日2冊にするなどして、子どもたちのノーメディアを支援しています。読書だけでなく、家事の手伝いや一家団らんの時間を積極的にとり入れ、お子様とふれあうことも大切にいただければと思います。